

## 平成21年度公共事業等事前評価調書（簡易型）

(土石流被害の防止による評価)

(区分) 國補・県単

事業名	地域防災対策総合治山事業(通常地域)	事業箇所	甲州市 勝沼町 深沢	地区名	ふかさわ 深沢	事業主体	山梨県
<p><b>(1) 事業概要</b></p> <p><b>①課題・背景</b> 本箇所は、甲州市勝沼町深沢地区に位置する一級河川深沢川の上流であるが、平成21年4月11日発生の林野火災により森林91haが焼失し、保安林機能の低下が顕著となった。また渓流の荒廃も著しいため、森林整備等により保安林機能の回復を早急に図り、深沢地区の保全を図る必要がある。</p>				<p><b>(3) 事業の妥当性評価</b></p> <p><b>①公共関与の妥当性（行政が行うべき事業か）</b> <input checked="" type="checkbox"/> 妥当・妥当でない ・森林法第41条第1項に規定された「保安施設事業」に該当</p> <p><b>②事業執行主体の妥当性（県が行うべきか）</b> <input checked="" type="checkbox"/> ・森林法第41条第3項の規定により都道府県知事が整備</p> <p><b>③経済妥当性</b> 費用便益費 便益(B)／費用(C)=6.13 &gt; 1.0 ・便益(B)=1,560百万円 ・費用(C)=254百万円</p> <p><b>④事業実施・規模の妥当性</b> ・堆積土砂の流出防止 土砂流出防止率28%→70%</p> <p><b>⑤整備手法の有効性</b> ・保安林機能の回復を図る目的から治山事業による整備が有効</p> <p><b>⑥環境負荷への配慮</b> ・切土盛土面は緑化し、裸地を残さない ・使用機械は排ガス対策型とし、環境負荷を低減する</p> <p><b>⑦事業計画の熟度</b> ・地元甲州市からの強い要望あり</p> <p>&lt;妥当性評価&gt; ・7項目全て妥当であることから、実施が妥当と判断する</p> <p><b>(4) 事業間優先度評価</b> ・貢献度ランク：a、副次効果ランク：1 ∴優先度評価：S I</p> <p><b>(5) 総合評価</b> ・(3)及び(4)の結果から「最優先で実施」 <input checked="" type="checkbox"/></p>			
<p><b>(2) 整備内容と整備量</b></p> <p><b>①整備内容</b> 谷止工12基、森林整備24ha</p> <p><b>②整備期間</b> 平成22年度～平成24年度</p> <p><b>③総事業費</b> 273百万円（国費134百万円）（補助率1/2）</p> <p><b>④全体計画</b> 平成22年度 全体計画調査 谷止工5基、森林整備10ha 109百万円 平成23年度 谷止工5基、森林整備10ha 109百万円 平成24年度 谷止工2基、森林整備4ha 55百万円</p> <p><b>⑤既整備内容・期間・事業費</b> 昭和38年～平成元年 谷止工27基、山腹工0.2ha 423百万円 平成10年～平成14年 谷止工5基 104百万円</p>				<p><b>【事業位置図等】</b></p> <p>省略</p>			